

みずほCustomer Desk Report 2019/01/30号(As of 2019/01/29)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.21
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.26	1.1430	124.90	1.3159	0.7165
SYD-NY High	109.55	1.1450	125.22	1.3200	0.7175
SYD-NY Low	109.14	1.1411	124.69	1.3057	0.7138
NY 5:00 PM	109.42	1.1431	125.02	1.3068	0.7157
NY DOW	24,579.96	51.74	日本2年債	-0.1600	1.00bp
NASDAQ	7,028.29	▲ 57.40	日本10年債	0.0000	0.00bp
S&P	2,640.00	▲ 3.85	米国2年債	2.5716	▲ 1.91bp
日経平均	20,664.64	15.64	米国5年債	2.5444	▲ 3.70bp
TOPIX	1,557.09	1.58	米国10年債	2.7089	▲ 3.78bp
ソコ日経先物	20,695.00	100.00	独10年債	0.1980	▲ 0.55bp
ロンドンFT	6,833.93	86.83	英10年債	1.2665	0.10bp
DAX	11,218.83	8.52	豪10年債	2.2340	2.55bp
ハンセン指数	27,531.68	▲ 45.28	USDJPY 1M Vol	6.86	0.13%
上海総合	2,594.25	▲ 2.72	USDJPY 3M Vol	7.27	0.11%
NY金	1,308.90	5.80	USDJPY 6M Vol	7.73	0.05%
WTI	53.31	1.32	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	179.18	1.70	EURJPY 3M Vol	7.86	▲ 0.03%
ドルインデックス	95.82	0.07	EURJPY 6M Vol	8.28	▲ 0.07%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月30日	0:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	1月 120.2	124.0

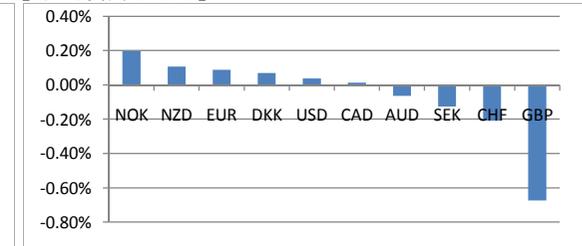
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月30日	16:00	独 GfK消費者信頼感	2月 10.3	10.4
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-2.7%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 -0.8%/1.6%	0.1%/1.7%
1月31日	22:15	米 ADP雇用統計	1月 181k	271k
	4:00	米 FOMC 政策金利	-	2.25%-2.50%
	4:30	米パウエルFRB議長講演	-	-
	-	米中通商協議	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-109.75	1.1400-1.1470	124.50-125.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は小幅なレンジで推移した。欧州時間序盤こそやや売りが先行したが、欧米株式相場の底堅い値動きに、109.21円で反発。北米時間、ムニューシン米財務長官の「中国が譲歩示せば全ての関税措置撤回の可能性はある」とのコメント後に109.55円まで上昇する場面も見られたものの、一段の買い材料なく上値は限られた。本日のドル円相場は動意薄の展開を予想する。東京時間明発表のFOMCや、本日と明日に開かれる米中通商協議の結果を見極めたいとの思惑が強く、やや膠着感の強い相場付きを予想する。

東京	東京時間のドル円は109.26ヘルでスタート。前日の米株安を受けて日経平均が下げ幅を拡大する動きに合わせてドル円は一時109.14まで軟化した。後場には日経平均が下げ幅を縮小させると109.30台を回復。FOMC、米中通商協議を控え値幅は限定的となるなか、109.28ヘルで海外市場に渡った。
ロンドン	ドル円は109.28ヘルでオープン。目新しい材料が無いなか、早朝は小幅に切り上げて109.45まで上昇。その後狭い値幅での推移が続き、結局109.48ヘルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3161ヘルでオープン。テラー・メイ首相が欧州連合(EU)とまとめた離脱協定の代替案の採決を控えるなか、様子見ムードでの推移となり、結局1.3162ヘルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は明日のFOMC結果発表や、明日、明後日と開催される米中貿易協議を控え、様子見から109.14~48での狭いレンジでの推移が続き、109.48ヘルでNYオープン。朝方は本日のブレグジット修正案7つの採決を目前に控え、期待が先行しポンド円が上昇する動きや、ムニューシン米財務長官が「中国との協議では、大きな進展を期待」との発言を受け、ドル円は109.55まで上昇する。その後は堅調に推移していたが横ばいまで下落する展開に円買いが優勢となり、109.28まで反落する。午後は英議会で、労働党カーバー議員提出のブレグジットの延期を求める修正案が否決されたことから円買いが強まり、ドル円は109.28まで下落するものの、合意なき離脱を阻止する修正案が可決され、EU離脱で再交渉を求める修正案も承認されたことから、その後は下げ渋り、株式市場も引け後に発表された米テック/ロブ大手の決算が思ったほど悪くなかったことから、109.45まで戻し、109.42ヘルでクロスした。一方、昨日ドラッグECB総裁が景気は鈍化しているものの、刺激策は必要ないとの見解を示したことから底堅いユーロドルは、海外市場で1.1450まで戻し、1.1425でNYオープン。朝方は堅調な株式市場が上げ幅を縮小させる展開にユーロ円が下落し、ユーロドルも連れて1.1411まで下落するが、ユケルEU委員長がブレグジットの再交渉は無いと発言したことからユーロポンドが上昇する動きにユーロドルも1.1440まで戻す。午後は1.1430付近での推移が続き、1.1431ヘルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:山本・綱島